

9月・教皇さまの 意向のために祈りましょう

- ①一般の意向：社会発展をもたらす神の言葉
- ②宣教の意向：戦争の終結
- ③日本教会の意向：十字架の神秘を学ぶ

長崎原爆の日から65年

平和を願う声をさらに強めて

8月9日、長崎原爆の日から65年を迎える。平和祈願ミサが、教皇大使アルベルト・ボッターリ・デ・カステッロ大司教と那覇教区の押川壽夫司教を迎え、高見三司大司教主司式のもと午後8時から浦上教会でささげられた。ミサには60余人の司祭が共同司式し、信徒約1000人も参列した。

ミサの初めに、教皇庁国務長官からのメッセージが教皇大使によって読み上げられ、この日のミサに教皇ベネディクト16世が心を合わせて祈っていることが披露された。



教皇大使
コレッキ氏

説教は教皇大使が務め、被爆のそのときから現在までずっと苦しみを背負ってきた方々にいたわ

(Peace be with you)の言葉を使命感を持って生きるように促した。今年は、雨天のため、平和公園からのたいまつ行列は中止となったが、平和公園で予定されていたステファン・M・コレッキ氏(米国司教協議会国際正義と平和委員会事務局長)と高見大司教の平

和アピールがミサの終わりに読み上げられた。コレッキ氏は、「原爆投下への遺憾の意を表明する世論づくりに努力する」と述べた。高見大司教は、「武器を持つて相手に向かうことは愚かなことであると悟るように」「社会の中で家庭の中で、心の平和を保つことが大事。キリストの愛を徹底して実践するように」と訴えた。



内楽アンサンブル、歌はベネズエラ大使夫人でソプラノ歌手のコロネリか(写真)。会場には、横路孝弘衆議院議長、秋葉忠利広島市長はじめ各国大使も多数訪れ、一般参加者約200人と共に、被爆マリア像の前で平和を願うひとときを過ごした。

祈り合う 広島と長崎

被爆地を持つ広島教区と長崎教区。8月6日、広島の世界平和記念聖堂(厳島教会)では朝8時から「原爆犠牲者およびすべての戦争犠牲者追悼ミサ」が行われた(3面に関連記事掲載)。長崎の浦上教会被爆マリア小聖堂でも、同時に同じ典

に教会を奉獻した。このサン・ロレンソ教会の献堂400周年を、聖ラウレンチオ助祭殉教者の祝日である8月10日に、日韓の司教・司祭・信徒ら約200人が中町教会に集い、講演に耳を傾け、またミサをささげて祝った。講演はイエズス会司祭で、

豊臣秀吉が朝鮮に出兵し、日本に連れ帰った朝鮮人は、長崎でキリスト教の教えに触れ、その多くが洗礼を受けた。彼らは長崎の高麗町に教会を建て、聖ラウレンチ

26聖人記念館の館長デ・ルカ・レンゾ神父が務めた。講演でレンゾ神父は、16世紀末に連れてこられた朝鮮半島の人々が、同じキリスト教の信仰のゆえに当時の長崎に受け入れられ、国籍と政治の立場を乗り越える力となったことを、資料をもとに解説した。

引き続き行われた高見大司教主司式のミサでは、日



8月5日、長崎市を訪れた潘国連事務総長は浦上教会を訪問し、被爆マリア像と再会した。



当初広島のみ訪問予定だったが、本年5月3日、高見三司大司教がニューヨーク国連本部で被爆マリア像と共に潘国連事務総長と会見した際、長崎来訪を要請。その時は、「考えた

ただ、ただで何かを言うことはできないが、心で重く受け止めており、核兵器の全廃こそ自分が打ち込まなければならぬことだ」と述べた。

会見後、被爆マリア像の前で、潘国連事務総長、田上長崎市長、高見大司教は固く手を結び合い、核廃絶の強い願いを世界に向けて発信した。

した、ただで何かを言うことはできないが、心で重く受け止めており、核兵器の全廃こそ自分が打ち込まなければならぬことだ」と述べた。

から歓迎のあいさつがあり、続いて中高生らはグループに分かれ互いの言語を用いての自己紹介に挑戦。発音を教え合っ

その時の自分の顔はどうだったでしょうか。そして、分かった時の顔は、みんなの顔と気持ちは？と、これから皆がつくっていくのは少ない椅子でも座れる世界と語り掛け、皆真剣な表情で聴き入っていた。

この日は引率の大人も含め約70人が参集。言葉の壁を越えた交流とあって関心を寄せ合い、会場は終始熱気にあふれ、その後の会食も盛況だった。

その時の自分の顔はどうだったでしょうか。そして、分かった時の顔は、みんなの顔と気持ちは？と、これから皆がつくっていくのは少ない椅子でも座れる世界と語り掛け、皆真剣な表情で聴き入っていた。

この日は引率の大人も含め約70人が参集。言葉の壁を越えた交流とあって関心を寄せ合い、会場は終始熱気にあふれ、その後の会食も盛況だった。

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
下 窄 英 知
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095 (843) 3869 FAX 095 (843) 3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp
印刷所 株式会社 藤木博英社
〒850-0852 長崎市万屋町5-13
TEL 095 (821) 2146 FAX 095 (821) 2148

あなたたちはすべての人に憎まれる。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。
マタイ10章22節

今回、浦上教会被爆マリア小聖堂が、共同記者会見の会場となった。浦上教会に到着した潘国連事務総長は、高見大司教に伴われて堂内を見学。

被爆前の旧浦上天主堂の写真を見せながら案内する高見大司教の説明に耳を傾けた。記者会見が始まると、被爆マリアの祭壇を背に長崎訪問の感想を述べ、核廃絶を力強く訴えた。また、記者の質問に答えて、被爆者との出会いをはじめ、見聞き

被爆前の旧浦上天主堂の写真を見せながら案内する高見大司教の説明に耳を傾けた。記者会見が始まると、被爆マリアの祭壇を背に長崎訪問の感想を述べ、核廃絶を力強く訴えた。また、記者の質問に答えて、被爆者との出会いをはじめ、見聞き

被爆前の旧浦上天主堂の写真を見せながら案内する高見大司教の説明に耳を傾けた。記者会見が始まると、被爆マリアの祭壇を背に長崎訪問の感想を述べ、核廃絶を力強く訴えた。また、記者の質問に答えて、被爆者との出会いをはじめ、見聞き

被爆前の旧浦上天主堂の写真を見せながら案内する高見大司教の説明に耳を傾けた。記者会見が始まると、被爆マリアの祭壇を背に長崎訪問の感想を述べ、核廃絶を力強く訴えた。また、記者の質問に答えて、被爆者との出会いをはじめ、見聞き

被爆前の旧浦上天主堂の写真を見せながら案内する高見大司教の説明に耳を傾けた。記者会見が始まると、被爆マリアの祭壇を背に長崎訪問の感想を述べ、核廃絶を力強く訴えた。また、記者の質問に答えて、被爆者との出会いをはじめ、見聞き

被爆前の旧浦上天主堂の写真を見せながら案内する高見大司教の説明に耳を傾けた。記者会見が始まると、被爆マリアの祭壇を背に長崎訪問の感想を述べ、核廃絶を力強く訴えた。また、記者の質問に答えて、被爆者との出会いをはじめ、見聞き

被爆前の旧浦上天主堂の写真を見せながら案内する高見大司教の説明に耳を傾けた。記者会見が始まると、被爆マリアの祭壇を背に長崎訪問の感想を述べ、核廃絶を力強く訴えた。また、記者の質問に答えて、被爆者との出会いをはじめ、見聞き

被爆前の旧浦上天主堂の写真を見せながら案内する高見大司教の説明に耳を傾けた。記者会見が始まると、被爆マリアの祭壇を背に長崎訪問の感想を述べ、核廃絶を力強く訴えた。また、記者の質問に答えて、被爆者との出会いをはじめ、見聞き

被爆前の旧浦上天主堂の写真を見せながら案内する高見大司教の説明に耳を傾けた。記者会見が始まると、被爆マリアの祭壇を背に長崎訪問の感想を述べ、核廃絶を力強く訴えた。また、記者の質問に答えて、被爆者との出会いをはじめ、見聞き

被爆前の旧浦上天主堂の写真を見せながら案内する高見大司教の説明に耳を傾けた。記者会見が始まると、被爆マリアの祭壇を背に長崎訪問の感想を述べ、核廃絶を力強く訴えた。また、記者の質問に答えて、被爆者との出会いをはじめ、見聞き

8/5・6
ピース・スタディ
広島平和学習

8月5・6日、教区福音化推進部主催の第2回広島平和学習に中高生や大学生ら31人と、司祭6人を含む大人ら総勢47人が参加し、広島で原爆について学ぶとともに平和を祈った。

一行は5日の昼過ぎ、広島に到着。初めに平和記念資料館を見学し、平和公園内を巡った。夕方、全国から集まったキリスト者と、原爆供養塔前(平和公園)から世界平和記念聖堂(幟町教会)までの約3キロを歌で平和アピールしながら行進、同聖堂での平和祈願ミサで祈りをささげた。ミサの中で、駐日教皇大使アル



平和行進



動員学生慰霊碑前で(長崎出身校名も一)

教協議会国際正義と平和委員会事務局長コレッキ氏による分かち合いがそれぞれ行われ、平和学習の終わりは高見大司教を囲んでの昼食会で交流のひとときを過ごした。今回

回は教区高校生大会も同時に行われて青少年の参加が多く、さまざまな世代が共に平和を学び祈るよい機会となった。(参加者の感想を次号掲載予定)

8/7
被爆遺構とキリシタン遺跡めぐり

教区正義と平和推進部主催の「被爆遺構とキリシタン遺跡めぐり」が8月7日行われ、参加者は身近な遺構を知り先人たちの思いを新たに

ある山王神社(長崎市坂本)の本柱鳥居や被爆クノキ、長崎開港と同時期に開かれたといわれる、潜伏キリシタンの墓地だった



本島等講演会
(元長崎市長)

8月7日、元長崎市長・本島等さんの講演会が約1時間、長崎大司教館



「経の峰墓地」などを1時間あまりかけて歩き巡った。参加者は、実際にその場所を訪れることで、今なお残る被爆のつめ跡を再認識し、心を動かされた様子でガイド2人の詳しい解説に聴き入っていた。

マリアの丘で——
音楽朗読会

マリアの丘から愛を込めてⅢ「平和を祈る音楽朗読会」子どもたちが共に、8月7日城山教会であった(写真)。アナウンサー、会社員などで構成する「ながさき」と「東京」の水の会が、被爆した山里国民学校の先生を主人公にした紙芝居をバックに「瞳の中の子どもたち」(長崎市市制施行120周年関連事業)。「チロップのきつね」TBSの音楽番組など報道の第一



「平和祈願祭」
テーマ
NO MORE NAGASAKI
被爆マリア像と共に全世界へ発信しよう

戦後65
からし種・パン種

平和な世界をつくるチャンス

M・J・マホニー

昭和20年3月9日、10日、B29による東京大空襲で、特に隅田川右の江戸川区、小松川方面と下町全般で10万人を超える犠牲者が、むごい死に方で亡くなり、また、数多くの人たちが家を失った。数カ月後終戦で江戸川区、江東区の荒廃の地に、広島と長崎の原子爆弾で生き残った数百人の方

しい住職が、キリスト教と仏教の信者の人たちの協力を得て、市民や他宗教の方々と一緒に肩を並べ、毎年7月、学校の夏休みの前に江戸川区葛西の原爆追悼式を行うようになった。パーセル神父、山口神父、マホニー神父、数百人の中学生・高校生と共に1000人ぐらいの方々と青空の下、広島や長崎の原爆体験者の生の声を聞き、戦争のばからしさや、核兵器を捨てること

それぞれの宗教の信徒が自分の心に従い、真の平和のために祈り、そして具体的に、その平和を実現することを思いめぐらす。第2バチカン公会議(1961-1965)でイエス・キリストは唯一の救い主であり、教会が神に至る通常の道であることを大胆に述べています。同時に、他宗教の皆様が大事にしている信仰を尊重すること、歓迎すること、好意的な態度と

相互の尊敬を表すことを宣言しています。(※2) ヨハネ・パウロ2世教皇様は1982年、全世界の宗教指導者たちが自分の心に従って祈るよう、イタリアのアッシジに招待されました。これこそ、当時、カトリック教会に大きなショックと刺激を与えました。まさかローマ教皇自らが、異なった宗教の長老たちと一緒に立つこと、祈ること、何のことか...

【注1】日本国憲法 戦争の放棄 第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

【注2】教会憲章 (LUMEN GENTIIUM) キリストが貧困と迫害のうちにあがなひのわざを完成したように、教会も救いの成果を人々に伝えるために同じ道を歩くよう招かれている。...自分のふところに罪人を抱いている教会は、聖であると同時に常に清められるべきものであり、悔い改めと刷新との努力を絶えず続けるのである。

【注3】キリスト教以外の諸宗教に対する教会の態度についての宣言 (NOSTRA AETATE) 教会は自分の子らに対して、キリスト教の信仰と生活を証明しながら、賢慮と愛をもつて、他の諸宗教の信者との話し合いと協力を通して、かれらのもとに見いだされる精神的、道徳的富および社会的、文化的価値を認め、保存し、さらに促進するよう勧告する。

「ながさき8・9 平和展」は8月4日〜9日まで県美術館で開催されたが、会場に被爆マリア像が、ぬりえコーナーが設け

「ながさき8・9 平和展」は8月4日〜9日まで県美術館で開催されたが、会場に被爆マリア像が、ぬりえコーナーが設け

「ながさき8・9 平和展」は8月4日〜9日まで県美術館で開催されたが、会場に被爆マリア像が、ぬりえコーナーが設け

「ながさき8・9 平和展」は8月4日〜9日まで県美術館で開催されたが、会場に被爆マリア像が、ぬりえコーナーが設け

8/8
NAGASAKI
平和を願うコンサート

平和を願う思いを、祈りを込めた音の響きに変えて。8月8日カトリックセンターホールで、「長崎平和を願うコンサート」(同実行委員会主催「記念樹」・活水高校コーラス部他が、主



こそわが生まれ「死んだ男の残したものは」など披露した。第3部の「平和讃歌」(構成・作曲瀬尾照明、指揮岩永崇史)は合唱朗読と管弦楽すべての出演者により演奏され、祈りの響きに満たされた。最後に会場全体で「故郷」など大合唱し、コンサートを終えた。

高校生平和大使6人
国連欧州本部に派遣

核兵器廃絶と世界平和を求める署名をスイス・ジュネーブの国連欧州本部に届ける高校生平和大使6人の中にカトリック校から長崎南山高2年の青木政憲さんと、熊本マリスト学園高2年の佐々木彰子さん(熊本市)が

選ばれ派遣された。青木さんの祖父母は被爆者。高校生平和大使6人は8月17・24日に国連欧州本部を訪れ、この1年間で集めた国内外の7万4025人の署名を手渡し、核兵器廃絶を訴えて帰国。

8/8

原爆殉難者
慰霊祭

長崎県宗教者懇話会主催の第38回原爆殉難者慰霊祭は、8月8日午後7時から長崎市松山町の原爆落下中心地であった。慰霊祭は雅楽演奏で始まり、賛歌合唱は長崎カトリック合唱団、ルンビニコーラス、PLコーラスなど5つの団体が構成し、平正義和師の指揮で歌った。続いてお清めの



駐日教皇庁大使



コレッキ氏

ように、わたしたちをかきたてます。

儀、献水の儀、平和の灯、平和への誓い、慰霊の言葉があった。

カトリックの代表者として参列した駐日教皇庁大使アルベルト・ボッタリ・デ・カステッロ

(ルカ18章9〜14節)

神さま、罪人のわたしを憐れんでください。

『ごめんなさい』。わたしたちはよくあやまります。今までに何回あやまったか、数えきれません。でも、簡単にあやまることができるときとそうでないときがありますよね。

あやまるのが大事なことは小さい子どもでも知っています。保育園のトシくんはもうすぐ二歳ですが、お友達のおもちゃを横取りしたので、お友達は泣き止ましました。「トシくん」と先生

8/9

純心女子学園
慰霊祭

純心女子学園(長崎市長文町)では8月9日、純心女子学園原爆殉難者慰霊祭が行われた。

午前8時30分、慰霊のミサが浦上教会の中尾直通神父司式により学園聖堂でささげられ、説教を担当した山浦義春神父(コンベンツアル聖フランシスコ修道会)は「平和とは、人とつながり、共に喜び合う。相手を受け入れること。周りの人と一緒に歩いていくこと」と

原爆犠牲者
追悼ミサ

65回目の原爆の日を迎えた8月9日、長崎市内のいたるところが祈りに包まれる中、浦上教会でも朝6時と11時に原爆犠牲者の追悼ミサがささげられた。

原爆投下の時間11時2分に平和の鐘が響く中、まず原爆犠牲者のために福を黙とうし、ミサが始まった。小島 栄主任神

に呼ばれると、今度はトシくんが床にうつぶせになって泣き出しました。まだうまくしゃべれないので、「ごめんなさいが言

みことばにふれて

お告げのマリア修道会
赤窄須美子修道女

ごめんなさい

クミちゃんは泣き出したばかりで「いいよ」と言ってくれません。するとミイちゃんは「ごめんなさい、ゴメンナサイ、ご

被爆者合唱団の
声響く
平和祈念式典に初参加

被爆65周年を迎えた8月9日、長崎市の平和公園で長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典があり、核保有



田上長崎市長

父は説教の中で、「この地で亡くなった人たちが、祈りながら亡くなった人たちが、原爆の犠牲となった方々の永遠の安息のために祈るとともに、こう

8/10
親子記者
大司教取材

日本非核宣言自治体協議会(会長・田上長崎市長)が主催する「親子記者事業」で、全国から選ばれた親子9組のうち1組が8月10日、記者として浦上教会で高見三明大司教にインタビューした。取材したのは高松市



浦上教会で

の橋本由紀子さん、夏姫ちゃん(小2)親子。「核不拡散条約(NPT)再

浦上の
新司祭館落成

浦上教会(主任小島栄師)の新司祭館が、このほど落成(写真)。8月15日、高見大司教を迎えて祝別式があり、参列者一同、喜びを分かち合った。

新司祭館は昨年12月着工。この7月25日には、信徒にはば完成した建物の



内覧会を行っている。長

年の夢だった神父さま方の快適そうな部屋の仕上がりでこれぞ安心したと信徒の言葉も多く聞かれた。(浦上の広報紙)建物とは地下1、地上1階の鉄筋コンクリート建て。外壁はモスグレー、扉などは青磁色にまとめた近代的な司祭館。玄関から受付までの広いスペースは訪問者に解放感を味わせてくれる。

シゲニス・ジャパン(カトリックメディア協議会)が今年のカトリック映画賞に選定した作品「風のかたち」(監督・伊勢真二)が、11月21日(日)カトリックセンターで上映される。この映画は、聖路加病院小児科の子どもたちを10年にわたって取材したドキュメンタリー。シゲニス・ジャパン顧問の晴佐久昌英神父(東京教区)はその授賞理由について、「私は司祭に叙階されてから23年になりますが、いつもある同じ質問を受けるたびに絶句し立ちすくんでしまいがいつも私に付きまといまいます。それは、もし神様がおられるなら、なぜ罪もない子どもたちが病気になったり死んだりするのですか? もし神様が「愛である」というなら、なぜそうした子どもたちを治して命を救って

2010年カトリック映画賞
受賞作品 上映決定!

やらないのですか? という質問です。その質問を受けるたびに私の心の中では、そうした子どもたちの上にも神様の愛は確かに注がれているという信頼、病気で苦しんでいた亡くなった子どもたちにもどれだけの愛が注がれているかという強い直感があるのです。神様が愛そのものであり、一人一人の人をとて大切にしておられるという直感はあるのですが、それをなかなか言葉にしよううまく答えられないというもどかしさがいつも私に付きまといまいます。そうしたもどかしさの中、この映画を観て、答えはあるじゃないか! この映画の中の子どもたちの瞳の中に、神様の真実の愛はあるじゃないか! と確信しました」と語っている。

メモをとっていた。

親子記者事業は、被爆地の平和への取り組みを全国へ広め、核兵器廃絶と平和への願いを若い世代へ伝えるため、小学生と保護者を記者として長崎へ招き、平和祈念式典や平和集会、被爆者への取材などを行い、おやこ記者新聞として発刊する。

墓地改修・新設 個人のご相談も承ります

実績 城山教会墓地 館の浦教会墓地
浜串教会墓地 青砂ヶ浦教会墓地 他 多数
(有)長崎大理石 社長 ヨハネ 濱本直行
本社 長崎市つつじが丘5-1-15 (TEL)095-839-0374
加工工場 諫早中核工業団地

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売

たつみ産業株式会社
西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 寛己
本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地
TEL (0956) 31-8268

セイントホール
とさきのもり
フラワーアレンジ
グリーングラス
フラワースタンド生花

主の平和 安らかな旅立ちのお手伝い

平戸・北松一円の信徒会館葬・教会葬・自宅葬にも対応。
また宿泊施設を完備した当館での斎場葬もご利用下さい。

葬儀の事、事前相談など お気軽にお電話を

『とさきのもり友の会』入会募集中

刻の杜斎場 0950 26-0005

平戸市田平町小手田免990-35 瀬戸の寄り道前
代表 ペトロ 小出 博史

なが さき せき ちょう
長崎石彫

ヨゼフ 岩永 博明
☎(095) 862-2469
長崎市梁川町 6-17 岩永ビル



主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ヨハネ 西村 勇二
長崎市辻町 7-18 TEL (095) 844-4011
24時間営業 FAX (095) 843-9896